

# 平成25年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人

WE21 ジャパン ひらつか

## 1. 事業の成果

- ①資源のリユース・リサイクルを推進する事業は、市民からの賛同と認知が更に進み事業を進めることができました。しかし、リユースのところでの事業は昨年度より減少しました。
- ②アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業は、2011年3月11日以来「東日本復興支援」を継続し、インド、カンボジア、フィリピンへの支援も継続できました。
- ③多文化共生を進めるための事業は、中学生以上を対象に外国にルーツのある市民のための「日本語学習支援教室」（湘南JRC主催）の会場として協力しました。食や、手工芸作りなどを通じてさまざまな国の方々との交流を進めることができました。カフェ事業は収支の問題とスタッフのことなどから、12月25日をもってカフェ部門を3月末日まで休業しました。
- ④地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業は、市民、会員の関心が高くなっています。インドからNGO・DRCSCのメンバーが来日の際に市民がインド料理を作りながら交流しました。報告会・学習会（カンボジア、フィリピン、イラクでの支援活動など）に市民の参加が広がってきました。
- ⑤ この法人の事業の広報普及を図る事業は、WEニュースを年間3回発行（総部数12,500部）、会員レターを年4回発送。ひらつか独自のブログを年間55回更新して、タイムリーな広報に努めました。

## 2. 事業内容

### （1）特定非営利活動に係る事業

#### ①資源のリユース・リサイクルを推進する事業

- ・内容 限りある資源の有効活用を広く市民に伝え、寄付品として提供を受け販売して収益を事業活動と支援事業に活用する。
- ・日時 通年
- ・場所 WEショップひらつか代官町店・・・平塚市代官町11-30  
WEショップひらつか旭店・・・・平塚市徳延563-2-102
- ・従事者人員 延3,000名
- ・対象者 平塚市と近隣の市民
- ・支出額 12,099,552円

#### ②アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

- ・内容 支援先のNGO、NPOの事業を共有して、互いに協力し合う民際支援活動をおこなった。「東日本大震災復興支援」を今年度も継続し、毎月11日の売り上げ金の1部と募金を合わせて福島県を拠点に活動する現地NPO法人に支援する。
- ・日時 通年

- ・場所 WE ショップひらつか代官町店・・・平塚市代官町 11 - 30  
WE ショップひらつか旭店・・・・平塚市徳延 563 - 2 - 102
- ・従事者人員 20 名
- ・対象者 日本、カンボジア、インド、フィリピンの主に女性や子どもたち
- ・支出額 984,351 円

③多文化共生を進めるための事業

- ・内容 人権を擁護し、公正な市民社会を実現するために「みんな de café」をカフェ事業を通じてさまざまなルーツの市民が集う場を活用した。相互理解を深める各種講座や外国にルーツのある市民のサポートをおこなった。
- ・日時 通年（但し、カフェ部門のみ 1 月～3 月末まで休業）
- ・場所 みんな de café・・・・平塚市徳延 563 - 2 - 101
- ・従事者人員 年間延 200 名
- ・対象者 平塚市と近隣の外国にルーツのある市民や地域市民
- ・支出額 2,913,310 円

④地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業（教育・共育事業）

- ・内容 WE 21 ジャパンひらつかの会員と会員以外の市民を対象に各種講座や学習会を開催する。海外のスタディツアーやモニタリングツアー報告会などを開催する。
- ・日時 通年
- ・場所 みんな de café、ひらつか市民活動センター
- ・従事者人員 13 名
- ・対象者 一般市民
- ・支出額 80,984 円

⑤ この法人の事業の広報普及を図る事業

- ・内容 WE ニュースの発行、ホームページ、ブログの活用、会員レターの発行及びショップ内外の掲示等により情報提供を解りやすく来店者、会員、市民へ発信する。
- ・日時 通年
- ・場所 ひらつか市民活動センター、広報担当理事の自宅
- ・従事者人員 4～10 名
- ・対象者 会員、一般市民
- ・支出額 79,540 円